

# マトロン 推進ニュース

第24号

通巻24号

平成16年1月25日発行

編集責任者・嶋野 亨

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-4-9 TEL (03)3669-1101(代表) FAX (03)3667-0870

〔サンワマトロンホームページURL〕 <http://www.matoron.co.jp> 〔三和機材ホームページURL〕 <http://www.sanwakizai.co.jp>

## 新年のご挨拶

三和機材株式会社  
代表取締役社長

栗田 五郎



サンワマトロン株式会社  
代表取締役社長

吉田 弘



明けましておめでとうございませう。

皆様方には、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

お蔭様で弊社も無事に新年を迎えることができ、これも偏に皆様方のご支援の賜物と衷心より感謝申し上げます。

関連の推進業界では、昨年は全国的に工事の発注が減少し、政府の構造改革の推進・コスト縮減・不良債権処理問題により、地場ゼ

ネコン、推進業者の倒産、廃業、施工価格の下落と多大な影響を受けたところで、昨年末の平成16年度政府予算案の財務省原案では、公共事業関係費は35%減と3年連続の縮減で、下水道事業関係の国費は対前年度501億円減額の8748億8000万円と緊縮の内容となっております。

このような状況の中で、工事の受注競争はさらに激しさを増すと考えます。お客様が優位に仕事をとるためには、機械の差別化が必要で、弊社は一品一品違う機械をつくり上げる小回りの利くメーカーと自負しており、お客様のご要請に対して密着し、品質に満足いただける製品と有益な情報をよりスピーディにきめ細やかに提供できますよう、なお一層積極的に取り組んでまいります。

下水道整備事業は、現在

および将来的にも国民生活の豊かさの象徴で、国の重要施策の1つであり、これを着実に達成していくことが必要であり、弊社といたしまして『エンビ・ホリゾン推進協会』を通じ、エンジニアリング工法、プレストン工法の小口径管推進工法の普及活動、および小型立坑構築工法『アート工法』の一層の普及活動を推進する中で新たな工法の開発にも努力してまいり所存です。

つきましては、今後とも皆様相変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。また、本年が皆様にとりまして良き1年でありますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



### 施工事例

## 塩ビ管φ150mmを施工

株式会社鹿児島推進開発

代表取締役 寺師 昇



#### ■工事概要

- ◇工事名称…単第29工区汚水管路施設工事
- ◇工事場所…鹿児島県鹿児島市
- ◇工期…平成12年7月～平成13年2月
- ◇施工…(株)鹿児島推進開発
- ◇土質…シラス N値15
- ◇土被り…約4.5m

φ150mmの施工をご紹介します。

0mmの推進についてはφ200mm推進と直角のライナープレート短軸方向幅2.0mからの発進となりました。到達はφ150mmが開削部と結合のため一回回収、φ200mmは既設の1号マンホール到達で、先導管は分割回収しました。



写真-2 鏡切り



写真-1 本体吊降し



写真-4 先導体発進



写真-3 先導体吊降し



写真-6 ケーシング継足し



写真-5 塩ビ管推進

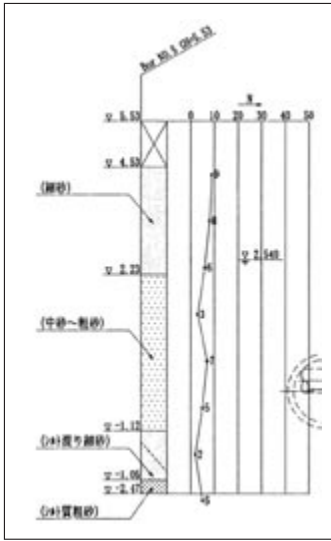


図-2 柱状図

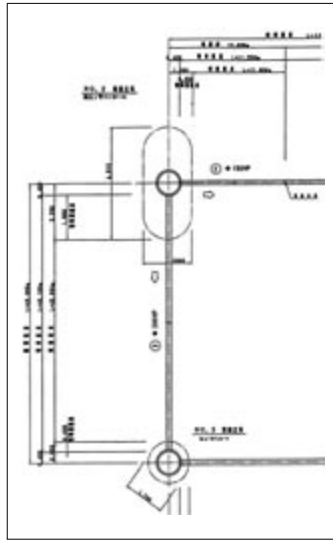


図-1 施工図



写真-7 排土状況



写真-8 先導体到達

- ◇管径…φ150mm×13スパン、最大63m(φ200)
- ◇管種…推進用硬質塩化ビニル管SUSカラー付直管
- ◇工法…オーガ方式工程式
- ◇推進機種…SH-355型
- ◇路線延長…約280m
- ◇勾配…3.0%
- ◇到達立坑…開削部と結合(φ150)、既設1号マンホール(φ200)
- ◇発進立坑…ライナープレート4・512×2.0m



写真-2 鏡切り



写真-1 φ600mm先導管



写真-4 管継足し



写真-3 発進

ホリゾンガー工法『SH-716型』によるヒューム管φ600mmの長距離施工を紹介いたします。

路線延長は約217・0m×2スパンで、それぞれ112・5m、104・5mといずれも100mを超える長距離の推進です。土

質は、N値15〜20の砂質シルト、水頭差が約2m、土被り約4.5m、オーガ工程式で施工いたしました。

発進は小判型ライナープレート2500×6111mmの両発進円形立坑、到達は小判型ライナープレート2500×6111mmの両

発進円形立坑で、管路が直角方向に推進するため幅2500mm方向に到達し、先導管は一体回収しました。

推進精度はデータシートのとおり長距離推進にもかかわらず、上下方向0〜+10mm・左右方向±5mm以内と大変良好で、推進力も到達付近で最大60Tonの結果でした。

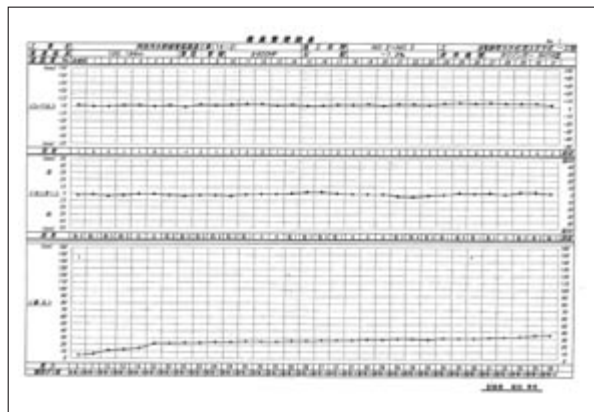


図-2 データシート

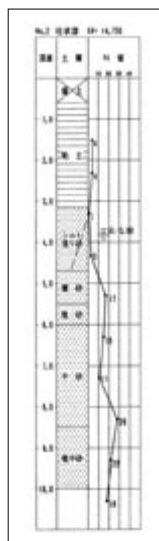


図-1 土質柱状図

■工事概要

- ◇元請…みらい建設工業(株) 南九州営業所
- ◇施工…(株)鹿児島推進開発
- ◇土質…砂質シルト、N値15〜20
- ◇土被り…約4.5m
- ◇勾配…約1.2%
- ◇工期…平成15年6月〜8月
- ◇工事名称…向田汚水幹線 管渠築造工事(14-2)
- ◇工事場所…鹿児島県川内市

施工事例

ホリゾンガー工法『SH-716型』ヒューム管φ600、112.5m、104.5mを施工!

株式会社鹿児島推進開発 代表取締役 寺師 昇

- ◇管径×長…φ600mm
- ◇管種…推進用ヒューム管
- ◇工法…オーガー工程式
- ◇推進機種…SH-716型
- ◇路線延長…約217・0m×2スパン、最大112・5m



写真-7 先導管到達



写真-6 掘削添加材



写真-5 ヒューム管発進

- ◇発達立坑…小判型ライナープレート 2500×6111mm
- ◇到達立坑…小判型ライナープレート 2500×6111mm(幅2500mm方向に到達)



写真-10 ケーシング回収



写真-9 先導管回収



写真-8 ヘッド回収



写真-2 φ500mm先導管吊降し



写真-1 φ500mm先導管



写真-3 φ500mm塩ビ管推進



写真-4 到達

サンライナー「SEH-508型」による塩ビ管φ500mm、φ400mmの施工をご紹介します。

土質はN値3の砂質土で、土被り約3.2m、地下水位がGL2.5mと水頭差が小さいものの流動性が大いと思われました。路線延長は

約130・1m、2スパンで、塩ビ管φ500mmが78・4m、φ400mmが54・0mで、泥土圧方式で施工しました。

1スパン目φ400mmは、20m付近で先導管が目詰まりを起こし締め付けられ、推力が最大24ton加わりながらも施工完了しました。

約130・1m、2スパン用し、締め付けもなく目視によりスムーズに施工できました。

発進はφ2500mmの両発達円形ライナープレート立坑、到達は塩ビ管φ500mmが既設3号人孔、塩ビ管φ400mmがφ1300mmライナープレートで、先導管は分割回収しました。

■工事概要

- ◇工事名称…福岡(天神4丁目2)地区下水道築造工事
- ◇工事場所…福岡県福岡市
- ◇工期…平成15年8月～

- ◇路線延長…約132・4m、2スパン、最大78・4m(φ500mm)
- ◇発達立坑…φ2500mmライナープレート(両発進)

- ◇管種…推進用硬質塩化ビニル管 SUSカラー付直管
- ◇工法…泥土圧方式一工程式
- ◇推進機種…SEH-508型
- ◇管径×長…φ500mm×1m、φ400mm×1m
- ◇管種…推進用硬質塩化ビニル管 SUSカラー付直管
- ◇勾配…約2.0%
- ◇土質…砂質土、N値3
- ◇土被り…約3.2m

日本地下工業株式会社 工事部長 久富 達夫

施工事例

# サンライナー「SEH-508型」 φ500×78・4mを施工!!

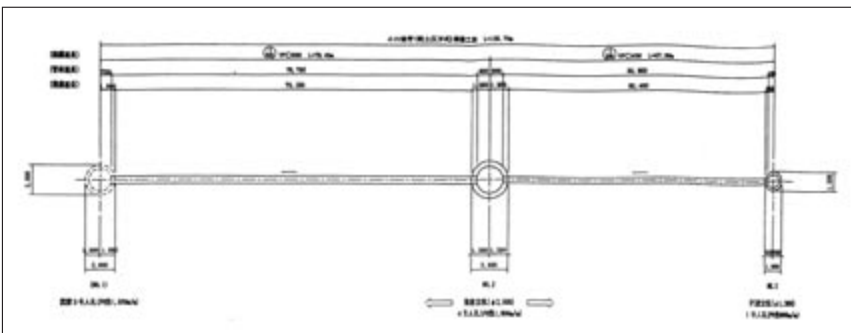


図-1 推進工図

9月

◇発注者…福岡市下水道局

◇施工…日本地下工業(株)

◇到達立坑…φ500mmが既設3号人孔

◇土質…砂質土、N値3

φ400mmがφ1300mmライナープレート

# アート工法協会ホームページのご案内

<http://www011.upp.so-net.ne.jp/art/>

アート工法協会のホームページをご紹介します。工法の説明はもちろん、工法説明会・現場施工例のご紹介など、最新ニュースを掲載しています。

## ① 更新情報



▶更新情報では工法説明会の案内、施工事例の紹介など最新情報を掲載しています。



トップページ

## ② 工法概要



▶工法の特長、写真による施工紹介、施工フロー図などを紹介しています。

## ③ 技術資料



▶アート工法機、施工機械を紹介しています。施工事例では現場稼働結果を紹介しています。

## ④ 施工実績



▶全国以外に、地区別の施工実績も紹介しています。

## ⑤ 会員名簿



▶全国の会員を紹介しています。



# 三和機材ホームページのご案内

<http://www.sanwakizai.co.jp>

このたび三和機材のホームページを開設いたしました。製品紹介はもとより、工場や設備、開発技術力の沿革なども掲載しています。

## ① 会社概要



## ② 工場紹介



## ③ 設備紹介



## ④ 製品紹介



## ⑤ 開発技術力の沿革



## ⑥ 特許情報

